

【報告】

第10回 日本禁煙科学会 学術総会 in 神奈川



◆テーマ

禁煙でつかもう 新たな世界

◆開催日・開催地等

開催日：2015年(平成27年)11月7日(土)~8日(日)

開催地：神奈川県横浜市

会場：神奈川県総合医療会館(〒231-0037 横浜市中区富士見町3-1)

◆総会会長

羽鳥 裕(日本医師会 常任理事)

◆主催

日本禁煙科学会

◆共催

神奈川県医師会、神奈川県歯科医師会

◆後援

神奈川県薬剤師会、神奈川県看護協会、神奈川県内科医学会、横浜市医師会、  
横浜市歯科医師会、横浜市薬剤師会、川崎市医師会、神奈川県、横浜市、川崎市、  
相模原市、横須賀市、藤沢市、かながわ健康財団、禁煙分煙活動を推進する神奈川会議、  
健康日本21推進全国連絡協議会

## 【学術総会会長挨拶】



第10回日本禁煙科学会学術総会

会長 羽鳥 裕

日本医師会常任理事

このたび、神奈川県において第10回日本禁煙科学会学術総会を平成27年11月7日・8日に開催します。

神奈川県では、平成22年に施行された「神奈川県公共施設における受動喫煙防止条例」を制定に際し、医療関係5団体の神奈川県医師会、神奈川県歯科医師会、神奈川県薬剤師会、神奈川県病院協会、神奈川県看護協会により条例の早期制定を求め、また3年ごとの見直しの際にも、この条例の最終目標が「全ての施設での完全な禁煙」であることを再確認するためにあらためて要望書をだしたところでございます。

国際的にも我が国は、2005年2月に発効した「たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約」を批准しており、その第8条において「たばこの煙にさらされることからの保護」のための効果的な措置を講じることが規定されていますが、現状を踏まえると、その国際的責務を果たしていないと言わざるを得ません。また、神奈川県では禁煙分煙神奈川県協議があり、禁煙に携わる医師、歯科医師、看護師、学校教諭、学生、行政、健診機関など多くの人々の携わる仕組みがあり活発に活動しています。また、神奈川県内科医学会禁煙マニュアル委員会があり、多くの先生方などに禁煙最新情報並びに禁煙指導に有効なツールの開発に努めています。

2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピックでは、IOCとWHOの間の協定により、開催地では罰則付きの受動喫煙防止法または条例の整備も求められています。

こうした中、喫煙は、心臓病、脳卒中、動脈硬化など循環器疾患、糖尿病、発がん、COPDなどNCDで最大の危険因子であり、成人の喫煙率の減少、禁煙希望者への支援、未成年や妊娠中の喫煙をなくすることが重要であり、また受動喫煙による健康被害も明らかになっており、家庭、職場、飲食店、行政機関、医療機関等での受動喫煙の機会を無くす施策は、健康寿命を延伸するのに最も有効な方法です。健康日本21（第二次）でもとりあげられました。職場での受動喫煙防止が義務化されなかったことは大変残念なことです。神奈川県が提唱する「健康寿命日本一」を達成するために強く求められるものの一つといえます。

今回の学会のテーマを「禁煙でつかもう新たな世界」といたしました。2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて、新たな禁煙社会をこの神奈川から構築する出発となるよう、また多くの志を同じくする多職種の人々と手を携えて、スモークフリー運動を推進していく所存です。

神奈川県総合医療会館全館借り切った開催となります。どうか会員の方はもとより、禁煙に関心のある友人、ご家族もお誘い合わせのうえ神奈川の観光と合わせて是非この機会にご来場ください。お待ちしております。

## ◆主たるプログラム

## 特別講演、教育講演、企画シンポジウム

## 市民公開講座 1

受動喫煙防止法制定を目指して

松沢 成文 (参議院議員)

神奈川県での禁煙推進

中山 脩郎 (禁煙、分煙活動を推進する神奈川会議会長)

## 市民公開講座 2

禁煙した！食べ物おいしい！でも太らない！

～ガッテン流・ラクして得する健康術2015～

北折 一 (元NHK科学・環境番組部専任ディレクター)

## 緊急シンポジウム

喫煙可能法的年齢の18歳引き下げに反対する

「現在、喫煙が法的に許される年齢を18歳に引き下げるとの動きがでています。この動きが国民の健康な生活を阻害するものであると懸念し、エビデンスにもとづいて法的な喫煙開始許可年齢を18歳に引き下げるについて論じ、反対を表明します。」(2015年11月4日、羽鳥学術総会会長・高橋理事長連名で報道各社に送られたマスコミリリースより)

## 【緊急シンポジウムにて採択された意見書】

## 法的な喫煙可能年齢の18歳への引き下げについての意見表明

日本禁煙科学会は禁煙や禁煙支援に関する専門家集団として、禁煙活動や受動喫煙防止の推進につとめてきました。

現在、喫煙が法的に許される年齢を18歳に引き下げるとの動きがでています。10代での喫煙開始が将来の疾病の増加につながるだけでなく、強いニコチン依存者が増加するなどのエビデンスにもとづき、われわれはこの動きが国民の健康な生活を阻害するものであると懸念し、法的な喫煙開始許可年齢を18歳に引き下げることは容認できないことの見解を表明します。

なお10代喫煙者の禁煙治療は困難で、いったん禁煙しても再発が多いものであり、10代での喫煙開始を避けることが重要です。米国では喫煙開始年齢を18歳から21歳に引き上げる自治体が増加していることを付記します。

エビデンスは以下のとおりです。

1. 喫煙者の多くは20才未満で喫煙を開始し、20歳代後半をすぎると喫煙者の増加は緩やかになる。(P2)
2. 10代で喫煙を開始すると、ニコチン依存の強い喫煙者が多くなる(P2)
3. 10代で喫煙を開始すると、将来のみならず若い時期での健康リスクが大きい(P3-4)

平成27年11月7日

日本禁煙科学会

※エビデンス(資料)を含む意見書全文は、日本禁煙科学会ホームページをご覧ください。

[http://www.jascs.jp/notification/page/page\\_93.html](http://www.jascs.jp/notification/page/page_93.html)

## 【学 会 賞】

◇受賞者：大熊由紀子

◇受賞理由： ジャーナリストとして禁煙をリードした功績

◇経歴：

東京大学教養学科で科学史・科学哲学を専攻。

1979年 朝日新聞科学部次長

1984年 論説委員（同社100年の歴史で女性初の論説委員）

2001年 大阪大学大学院人間科学研究科教授（ソーシャルサービス論）

2004年 国際医療福祉大学大学院教授（医療福祉ジャーナリズム分野）

2001年から、福祉と医療・現場と政策をつなぐ「えにし」ネットの志の縁結び係&小間使い。17カ国、6000人の読者をもつメルマガを発信。

「タバコの部屋」など数多くの部屋をもつホームページ <http://www.yuki-enishi.com/> でも発信。



『「寝たきり老人」のいる国いない国』（ぶどう社）は30刷のベストセラーとなり、第1章は介護保険制度のメニューに。タバコ問題に取り組む人々にも触れた『恋するようにボランティアを〜優しき挑戦者たち』『福祉が変わる医療が変わる』（ぶどう社）、『物語・介護保険』『ケアという思想』（岩波書店）、『患者の声を医療に生かす』（医学書院）など著書も多数。

他に、佛教大学社会福祉学部客員教授、日本福祉大学客員教授、国立大学法人筑波技術大学理事、介護対策検討会委員、医療審議会委員、国民生活審議会委員、全国ボランティア活動振興センター運営委員、公衆衛生審議会委員、中央社会福祉審議会、障害者の欠格条項をなくす会共同代表、千葉県21世紀健康福祉戦略検討委員会座長、千葉県健康福祉政策担当参与、滋賀県高齢化対策委員会会長、日本社会福祉士会理事、共用品推進機構理事などを歴任。



学術総会会場



学術総会会場



学術総会会場



学術総会会場



受付



懇親会(理事長挨拶)

## 【優秀演題賞受賞者一覧】

第10回 日本禁煙科学会学術総会 in神奈川 (2015年11月7日～8日)

No	種類	演題	発表者	
38	ポスター 口演	受動喫煙の健康被害と全面禁煙に関する日米アンケート比較調査 —東京オリンピック、パラリンピックに向けて—	尾崎裕香	奈良女子大学大学院 人間文化研究科国立病院機構 京都医療センター 展開医療研究部
29	口演	当院における未成年禁煙外来の現状	永吉奈央子	医療法人清心会 徳山クリニック
19	口演	成人式における喫煙アンケート5年間の推移	遠藤將光	NPO法人禁煙ネット石川、金沢医療センター 心臓血管外科
21	口演	保育園における禁煙教育活動について	仲佐菜生子	医療法人社団 創健会 松江記念病院
34	口演	本学禁煙アンケートに見る禁煙支援の方向性	東福寺幾夫	高崎健康福祉大学
6	口演	鶴見大学における喫煙の実態調査 —第10報	阿部道生	鶴見大学 歯学部
46	口演	屋外喫煙所における環境タバコ煙の建物内流入について	眞崎 義憲	九州大学 基幹教育院 学修・健康支援開発部、キャンパスライフ・健康支援センター
7	口演	屋外のみでの喫煙は禁煙の予測因子である：中学生における家族喫煙者2年間の追跡	鈴木修一	国立病院機構 下志津病院 小児科
2	口演	当院禁煙外来における禁煙成功・不成功と禁煙補助薬の副作用との関連性の検討	庄野剛史	和歌山労災病院
25	口演	昭和大学横浜市北部病院耳鼻咽喉科における禁煙治療 ～ニコチン依存症270例の治療経験から～	兼井彩子	昭和大学横浜市北部病院耳鼻咽喉科
10	口演	原因疾患の良悪性からみた周術期禁煙治療成績と問題点	松本寛樹	国立病院機構 千葉医療センター 外科
23	口演	喫煙が胃癌手術時の入院医療費に与える影響	守 正浩	国立病院機構 千葉医療センター 外科
26	口演	禁煙支援薬局における禁煙サポート活動の取り組みについて	上羽真美	あすか薬局西が岡店

## 【URL】

第10回 日本禁煙科学会 学術総会のページ

[http://www.jascs.jp/scientific\\_conference/10\\_2015/conf\\_index.html](http://www.jascs.jp/scientific_conference/10_2015/conf_index.html)

第10回 日本禁煙科学会 学術総会 プログラム・抄録集

※「禁煙科学2015」のページからダウンロードして下さい。

[http://www.jascs.jp/kinen\\_kagaku/kinen\\_kagaku\\_2015.html](http://www.jascs.jp/kinen_kagaku/kinen_kagaku_2015.html)